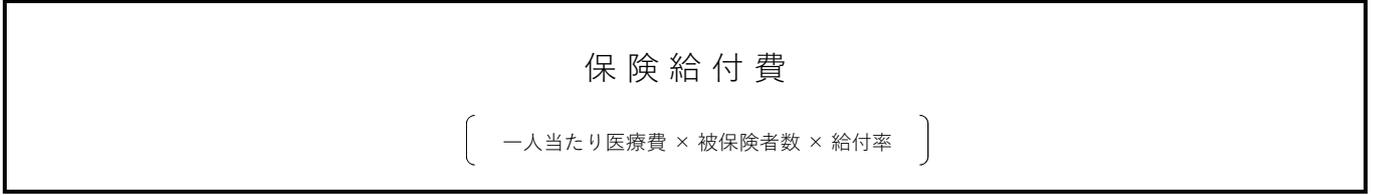
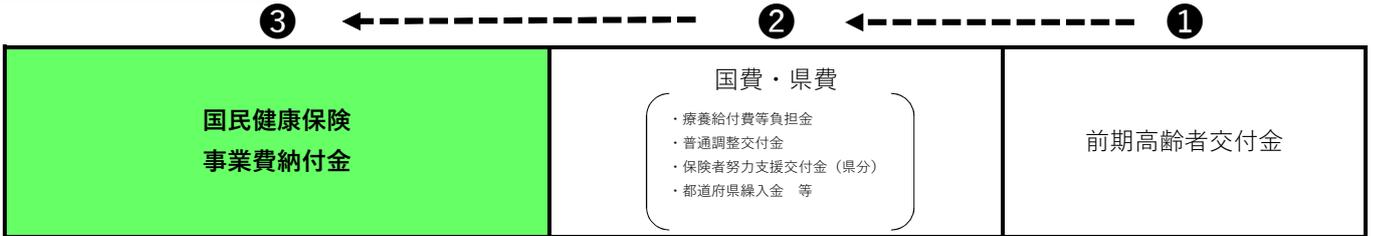


◎国民健康保険事業費納付金算定の流れ (一般被保険者・医療分の例)

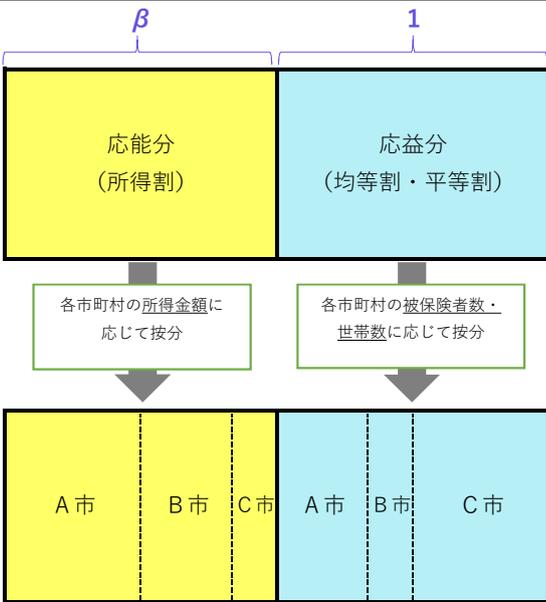
1 県全体の保険給付費の算定



2 県全体の納付金の算定



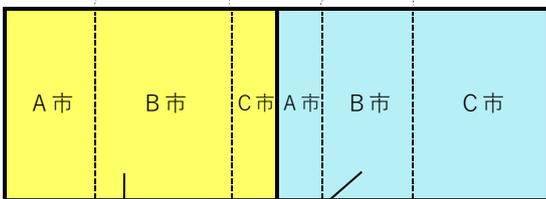
3 県全体の納付金を各市町村の所得と人数等で按分



- 所得水準をどの程度納付金に反映させるかは、所得係数「 β 」で決まる。
 $\beta = 1$ …全国平均
 β が 1 未満…全国平均と比較して所得水準が低い。
 β が 1 以上…全国平均と比較して所得水準が高い。

- 所得割… 所得が高い市町村は、納付金の負担が大きい。
所得が低い市町村は、納付金の負担が小さい。
- 均等割・平等割… 被保険者数・世帯数が多い市町村は、納付金の負担が大きい。
被保険者数・世帯数が少ない市町村は、納付金の負担が小さい。

4 さらに各市町村の医療費水準を反映



- 医療費水準が高い市町村は、納付金の負担が大きい。
- 医療費水準が低い市町村は、納付金の負担が小さい。
- 各市町村の医療費水準をどの程度納付金に反映させるかは、医療費指数反映係数「 α 」で調整することができる。
 - ・ $\alpha = 1$ …医療費水準を納付金の配分にすべて反映させる。
 - ・ $\alpha = 0$ …医療費水準を納付金の配分まったく反映させない。

5 市町村個別に調整

